

独立行政法人 日本学生支援機構（JASSO）
令和8年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
事例紹介（以下のスライドはすべて当日行った口頭報告の補助資料である）

産学連携による「日・英二言語就職ガイダンス」の多角展開 ～日本人学生と留学生双方のニーズに応えるグローバル支援の実践～

新潟大学 グローバル推進機構 国際交流センター & 教育基盤機構
キャンパスライフ支援部門 キャリア・就職支援オフィス
准教授 蒙 韞（韞）（MENG Yun）（もう ゆん）
森興産株式会社 森 隼人（もり はやと）、
陳 麗（ちん れい）、
パーリン ヤップ リ ホエイ

【本日の流れ（Agenda）】

1. **本取り組みの背景と課題【報告：新潟大学】**
 - └ 新潟大学が直面するグローバルキャリア支援のリアルな課題。
 2. **産学連携のソリューションと全国展開の最新連携事業【報告：森興産】**
 - └ 会社紹介、本プログラムの詳細、WA.SA.Biの活用、「地方自治体・大学との最新連携事例」の紹介。
 3. **データから見る学生の現状と「産学連携の価値」【報告：新潟大学】**
 - └ 進路希望の多様性と2大障壁、属性別の固有ニーズ（日本人・留学生）、WA.SA.Biによる「個別継続サポート」への高い要望。
 4. **成果の総括と今後の展望【報告：新潟大学】**
 - └ 全属性で高い満足度を達成できた理由と、地方国立大学におけるモデルケースとしての可能性。
-

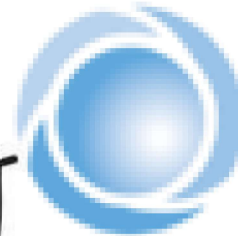
I.本取り組みの背景・課題

【背景】 私たちが直面した「多様化」と「リソースの限界」

- ①日本人学生の外資志向、日本語・英語トラック留学生の増加。
- ②予算削減、人員不足、専門知識を持つスタッフの不足。

【課題】 「点」で終わるガイダンスから、「線」で伴走する仕組みへ

- ①ガイダンス当日（点）は盛り上がっても、翌日から学生はまた一人で悩んでしまう。
- ②学生は共通して『情報不足』『選考への不安』という2大障壁を抱えており、そこをケアしないと企業とのマッチングまで辿り着けない。



森興産株式会社
MORI KOSAN CO.,Ltd



日本での生活・教育・就職情報ポータルサイト

WA.SA.Bi.

Powered by



森興産株式会社
MORI KOSAN CO.,Ltd.

【産学連携による本プログラムの設計 (2023年～2025年 3年間)】



～3つの学生属性に最適化した「提供形態別対応」と「網羅的フォロー」～
✿ 緊密な産学連携による、同日・同時時間帯の「3教室同時開催」！

	日本人学生	日本語トラック 留学生	英語トラック 留学生
 講師	森 社長	陳 氏	パーリン 氏
 言語	日本語	日本語	英語
 形態	対面	対面	対面＋オンライン
 テーマ	グローバルに活躍したい 一般学生のための 留学・就職準備講座	留学生のための就職準備講座	
 【全員 対象の後日 フォロー】	当日、対面・オンライン参加できない学生へ、後日「録画」を 配信！  視聴後に「フィードバックリンク」を送り、 インプットだけで終わらせない		

2. 産学連携のソリューションと全国展開の 最新連携事業【報告：森興産】

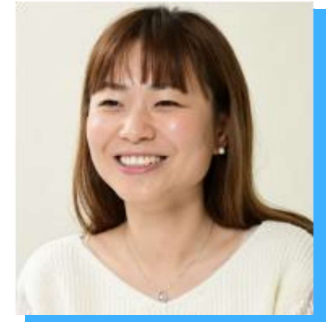
- └ **会社紹介、本プログラムの詳細、WA.SA.Biの
活用、「地方自治体・大学との最新連携事例」
の紹介。**
-

登壇者の紹介

陳 麗 Chen Li ちんれい

森興産株式会社 (WA.SA.Bi.)

- ・ 取締役 国際人財開発部長
- ・ 中華人民共和国（上海）出身
- ・ 学校機関連携/学生管理システム責任者
- ・ 多言語メディア「WA.SA.Bi.」編集長
- ・ 外国人留学生向け研修 講師
(キャリア構築・異文化理解)
- ・ JLPT N1 / BJT J1 / 日商簿記2級



在留資格

「留学」

「技術・人文知識・国際業務」

「高度専門職」を経て

永住者（1児の母）

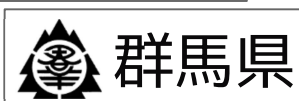
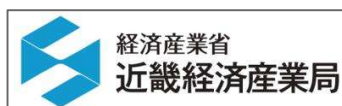


森興産株式会社／WA.SA.Bi.とは？

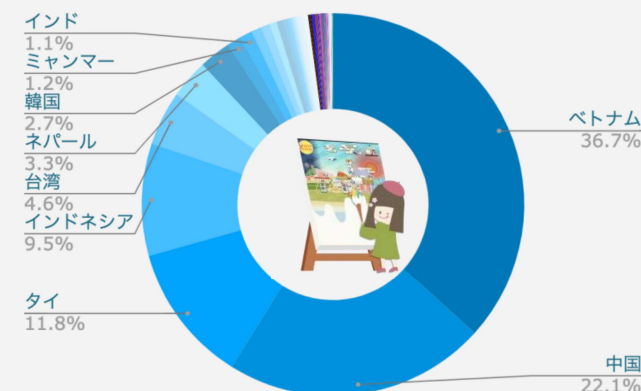
外国人支援の専門組織



- ✓ 外国人留学生向け多言語メディア WA.SA.Bi. 運営（「留学生 わさび」で検索）
- ✓ 外国人留学生が抱える「留学」「進学」「生活」「就職」「定着」「在留資格」などの疑問・不安に多言語/無料に対応（日・英・中・越・尼・ネパールなど）
- ✓ ビジネス日本語能力テスト（BJT）世界100都市での唯一の普及代理店（特別価格設定）
- ✓ 全国1600校以上に対し、留学生キャリア支援情報を定期配信中
- ✓ 国・自治体連携での外国人活躍支援（外国人事業受託）



24,213名 147か国/地域
の在留外国人が登録
(2026.06.02現在)



学校機関が抱える課題を伴走型で解決

講義/セミナー講師・個別指導・教職員支援実績

- ✓ 外国人留学生指導歴・教職員支援歴 **15年以上（年間50校以上）**
- ✓ 教員向け業務効率化支援（**留学生面談記録・アルバイト時間管理システム提供**）
- ✓ キャリア個別指導・入学時ガイダンス・就活セミナー/**講義実施（受講累計23,000人超）**
- ✓ **教職員向け「留学生指導・支援方法」**に関する研修も定期開催



新潟大学, 大阪公立大学, 奈良先端科学技術大学院大学、兵庫県立大学、会津大学、横浜市立大学、神奈川大学、聖学院大学、関西大学、近畿大学、甲南大学、龍谷大学、大阪工業大学、大阪産業大学、神戸国際大学、神戸情報大学院大学、京都先端科学大学、京都情報大学院大学、京都芸術大学、大阪樟蔭女子大学、環太平洋大学、中国学園大学、吉備国際大学、羽衣国際大学、芦屋大学、岡山商科大学、長崎国際大学、インドネシア教育大学、ハノイ貿易大学、パンヤピワット経営大学/大学院、専門学校エール学園、中央情報専門学校、奈良コンピュータ専門学校、和歌山コンピュータビジネス専門学校、清風情報工科学院、ECC国際外語専門学校、大阪YMCA国際専門学校、YMCA日本語学校、ヒューマンアカデミー日本語学校、早稲田言語学院、メロス言語学院 他多数（順不同）

I.留学生キャリア支援

Niigata University

Job Hunting Seminar Differences between Japan and Overseas!



日本での生活・教育・就職情報ポータルサイト
WA.SA.Bi.
Powered by 森興産株式会社
MORI KOSAN CO., LTD.

留学生向けの**日英**二言語ガイダンス

実施方法：

- ・ 正規生／交換留学生を対象に実施
- ・ 通常留学生向けにはやさしい日本語で実施
- ・ 英語トラックの留学生向けには英語で実施
- ・ 就職に関するアンケートを事前実施し、当日回答
- ・ ガイダンス動画は期間限定で公開
- ・ ガイダンス終了後の質問にも個別対応
- ・ 留学生の状況やニーズに合わせた情報提供

内容：

- ・ **日本の就職活動**の全体像をわかりやすい解決
- ・ 日本の就活文化、海外就活との違い
- ・ インターンシップの重要性、
- ・ 就職活動に必要な日本語力
- ・ 在留資格の基礎知識

なぜ多言語による留学生向けの就職支援が必要なのか

「日本語話者を前提とした就活の仕組み」では 拾えない才能を支える

① 英語(多言語)で完結できるキャリア支援環境の整備

☞ 日本語力に左右されない情報収集

② 海外と日本の就職・キャリア観の可視化

☞ 企業文化や職種の特徴、求める人材像の違いを理解し、日本で働くイメージを具体化

③ 日本の就活文化のわかりやすい解説

☞ 日本文化、企業文化、地域の魅力などを多言語で伝え、日本社会への理解、地域への定着

④ ビザや制度に関する正確な英語(多言語)情報の提供

☞ 最新在留資格情報を、正確にわかりやすく提供

⑤ インターン・OBOG紹介による実践機会の創出

☞ 先輩留学生との交流機会を提供し、キャリア形成を支援

⑥ 留学生・企業・大学をつなぐ情報ハブ機能

☞ 情報ギャップを埋め、適切なマッチングを促進



国立大学法人 新潟大学

学び、挑戦することの
大事さ（大切さ）と企業経営
[グローバルビジネス構築のポイント]

日本での生活・教育・就職情報ポータルサイト
WA.SA.Bi.
Powered by 森興産株式会社
MORI KOSAN CO.,LTD.



「日本人学生向けガイダンス」の実施内容

対象：海外留学に興味がある正規生を対象に実施

AS-IS（学生が抱える課題）

- ・ 留学によるメリット・デメリットを知りたい
- ・ 留学生の先に何があるのかが知りたい
- ・ 就職が遅れることへの不安を解消したい
- ・ 多言語の学習方法・活用方法を知りたい

TO-BE（目指す目標）

- ・ 留学の先輩として（その後起業した体験など）
- ・ 留学から生まれたグローバルビジネス構築
- ・ 留学により目指すべき世界の人との関係性

当社代表による留学での経験・人との出会い・その後の継続した関係性と、ビジネス構築までの経緯を伝えた後、学生からの質問に対して丁寧に答えることで疑問・不安の解消をはかった

WA.SA.Bi.の強み

WA.SA.Bi. をご活用ください



- ● 学内の人員だけでは多言語対応が難しい
- ● 留学生の増加により、個別面談・進路指導・学生管理の負担が大きい
- ● 留学生向けのキャリアガイダンス（授業）内容・企画に悩んでいる
- ● 最新の在留資格に関する情報や就職活動の情報が知りたい
- ● 企業とのネットワークや求人獲得に十分な時間を確保できない

その疑問



ですべて解決できます



3. データから見る学生の現状と「産学連携の価値」 【報告：新潟大学】

- └ **進路希望の多様性と2大障壁、
属性別の固有ニーズ（日本人・留学生）、
WA.SA.Biによる「個別継続サポート」
への高い要望。**
-

分析の前提となる「参加学生の詳細（2023～2025年度）」
～過去3カ年・総勢257名のリアルな基盤データ～



日本人学生の属性 (計102名)		留学生の属性 (計155名)
①参加形態	オンデマンド利用が主流 ・対面：39名（23年10→24年17→25年12） ・録画：63名（23年 8→24年30→25年25） ☒ 24年以降、後日フォローの「録画」が定着！	・対面日本語（日本語T）：計58名 ・対面/オンライン英語（英語T）：計67名 ・録画配信（後日フォロー）：計30名 ☒ 24年度に両トラックともに参加者が倍増！
②年齢・学年	低学年中心から高学年へ拡大 ・学部1～2年生が中心（3カ年計：67名） ☒ 25年度は就活直前の「学部4年生」が最多！	大学院生（高度人材）が多数派 ・学部生（1～5年）：49名 ・大学院生（修士・博士・研究生）：102名 ☒ 総参加者の【約66%】が大学院の学生！
③性別	男性41名 / 女性51名 ☒ 25年度は男性が過半数（23名）へシフト	男性78名 / 女性77名 └ 3年間を通じて「ほぼ50%ずつ」の「美しい」比率
④文系・理系	理系が3倍以上に増加！ ・文系：計63名 / 理系：計39名 ☒ 理系が 5名(23年) → 16名(25年) へ拡大！	文系中心も、24年に理系が急増 ・文系：計106名 / 理系：計48名 ☒ 24年度に理系留学生が「26名」へ一気に急増！

【分析①】多岐にわたる進路希望：

一律の支援ではカバーできない現実

～複数回答を含む、学生たちのリアルな進路模索の実態～

● 【日本人学生の進路希望（3力年計）】

■ 各年度の参加&回答者数：

【2023年】11名 / 【2024年】17名 / 【2025年】11名（3力年実人員：39名）

- ・日本で就職する : 計32名 (23年:10 → 24年:14 → 25年:8)
- ・海外で就職する : 計13名 (23年: 4 → 24年: 6 → 25年:3)
- ・国内大学院へ進学 : 計12名 (23年: 4 → 24年: 4 → 25年:4)
- ・海外大学院へ進学 : 計11名 (23年: 3 → 24年: 5 → 25年:3)
- ・日本で起業する : 計3名 (23年: 2 → 24年: 1 → 25年:0)
- ・その他 : 計1名 (23年: 1 → 24年: 0 → 25年:0)

● 【留学生の進路希望（3力年計）】

■ 各年度の参加&回答者数：

【2023年】20名 / 【2024年】40名 / 【2025年】21名（3力年実人員：81名）

- ・日本で就職する : 計46名 (23年:12 → 24年:27 → 25年:7)
- ・母国に帰る : 計33名 (23年:13 → 24年:11 → 25年:9)
- ・日本の他大学へ進学 : 計26名 (23年: 9 → 24年:11 → 25年:6)
- ・母国の大学院へ進学 : 計18名 (23年: 0 → 24年:11 → 25年:7)
- ・新潟大学院へ進学 : 計14名 (23年: 0 → 24年:10 → 25年:4)
- ・日本で起業する : 計6名 (23年: 2 → 24年: 4 → 25年:0)
- ・その他 : 計5名 (23年: 1 → 24年: 1 → 25年:3)

★ 【データが証明する結論】

実人員に対し、のべ回答数が非常に多い事実は「学生たちが複数の進路を同時に模索している」証拠。

→ だからこそ、一律のガイダンスではなく、3教室同時開催による『対象別の同時並行支援』が必要だった！

【分析②】開催前後の変化：ガイダンスが 日本人学生の「知りたい」を的確に解決



～過去3カ年の記述式アンケートから見える、学生の意識の「経年進化」～

【2023年度：黎明期】（参加&回答：11名／第1回目のスタート・志の萌芽）

- 【Before：一番知りたかったこと（期待・不安）】 →→→ 【After：ガイダンスを通して学べたこと（成果）】
- ・ 海外に行くきっかけや現地のリアルな生活、必要な語学力
 - ・ 海外就職の具体的な方法、森社長がどんな人か知りたい
 - ・ 外国人に対するビジネスの注意点や、働くときのマナー
 - ・ 【本質的な気づき】ビジネスとは信頼関係、人とのご縁
 - ・ 未来目標を決めてそこへのプロセス（逆算）を考える必要性
 - ・ 思ったらチャレンジしてみる、困難を楽しむ心の余裕

【2024年度：拡大期】（参加&回答：17名／参加者倍増・ノウハウと行動への転換）

- 【Before：一番知りたかったこと（期待・不安）】 →→→ 【After：ガイダンスを通して学べたこと（成果）】
- ・ 留学と就活の両立、多額の留学費用の工面、奨学金について
 - ・ グローバルに活躍できる人材になるにはどう視野を広げるか
 - ・ 英語の力を十分につけてから海外に行くべきか？
 - ・ 【衝撃の学び】ゴールを決めて逆算式に目標を立てる意義
 - ・ 語学力以上に、現地の文化や価値観を学ぶことの本当の価値
 - ・ 悩んでいても仕方がない、とにかく今できることに集中し挑戦する

【2025年度：深化期】（参加&回答：11名／最新データ・高次元なマインドの確立）

- 【Before：一番知りたかったこと（期待・不安）】 →→→ 【After：ガイダンスを通して学べたこと（成果）】
- ・ 海外就職のためにすべきこと、具体的な就活アプローチ
 - ・ 何から始めればいいのか？就活スケジュールへの疑問
 - ・ ESや面接で何をアピールすべきか、具体的なコツ
 - ・ 【志の確立】「志を立てる大切さ」「逆算の人生設計」
 - ・ 良い意味でちっぽけな自分に気づき、死ぬまでにやりたい目標ができた
 - ・ 当たり前「なぜ？」と問うビジネス・研究の基本姿勢

【分析②】 開催前後の変化：ガイダンスが 留学生の「知りたい」を的確に解決

～過去3カ年の選択肢集計データから見える、留学生の意識の「確かな進化」～

【2023年度：黎明期】（参加&回答：20名／日本就職の仕組みの理解と安心）

【Before：一番知りたかったこと 上位】	→→→	【After：ガイダンスを通して学べたこと 上位】
・就職活動の仕方（13名）		・①日本の就職の特徴（15名）
・日本の就職活動の全体の流れ（11名）		・②日本の就職活動のスケジュール（15名）
・①日本の就職の特徴（10名） ②インターンシップ（13名）		・①就職活動の全体の流れ（14名） ②インターンシップ（14名）

【2024年度：拡大期】（参加&回答：40名／参加者倍増・多様な関心の完全回収）

【Before：一番知りたかったこと 上位】	→→→	【After：ガイダンスを通して学べたこと 上位】
・日本の就職活動のスケジュール（21名）		・日本の就職活動のスケジュール（28名）
・日本の就職活動と在留資格（13名）		・①日本で働くとは（27名） ②日本の就職の特徴（27名）
・日本で働くとは（17名）		・①全体の流れ（26名） ②就職活動の所要時間（26名）

【2025年度：深化期】（参加&回答：21名／最新データ・より実践的な就活対策へ）

【Before：一番知りたかったこと 上位】	→→→	【After：ガイダンスを通して学べたこと 上位】
・日本の就職活動のスケジュール（10名）		・①日本の就職の特徴（14名） ②スケジュール（14名）
・①日本の就職の特徴（9名） ②インターンシップの違い（9名）		・③これからの就活で特に注意すべきこと（14名）
・就職活動の仕方／所要時間／インターンシップの詳細（各7名）		・インターンシップに関する基礎知識（13名）
		・日本の就職活動と在留資格／所要時間（各12名）

【分析③】 将来働きたい会社

（日本人学生 & 留学生の企業選定基準）



～過去3力年のデータが証明する、学生たちの「キャリア志向の変容」～

● 【日本人学生の企業選定基準】

📊 質問：将来働きたい会社（上位3位の年度推移）

● 【留学生全体の企業選定基準】

📊 質問：将来働きたい会社（上位3位の年度推移）

📅 2023年度（回答：11名）

- ・ 1位：日本にある外資系企業（8名）
- ・ 2位：日本にある日系企業（7名）
- ・ 3位：海外にある日系企業（5名）

📅 2023年度（回答：20名）

- ・ 1位：海外にある日系企業（12名）
- ・ 2位：日本にある外資系企業（11名）
- ・ 3位：日本にある日系企業（9名）

📅 2024年度（回答：17名）

- ・ 1位：日本にある外資系企業（13名）
- ・ 2位：日本にある日系企業（10名）
- ・ 3位：海外にある日系企業（7名）

📅 2024年度（回答：40名）★【国内就職へシフト！】

- ・ 1位：日本にある日系企業（29名）
- ・ 2位：日本にある外資系企業（28名）
- ・ 3位：海外にある日系企業・外資系企業（14名）

📅 2025年度（回答：11名）★【日系への逆転劇！】

- ・ 1位：日本にある日系企業（8名）
- ・ 2位：日本にある外資系企業（7名）
- ・ 3位：海外にある日系企業（6名）

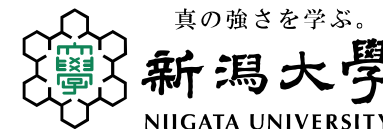
📅 2025年度（回答：21名）★【グローバル視野の拡大】

- ・ 1位：海外にある日系企業・外資系企業（11名）
- ・ 2位：日本にある外資系企業（10名）
- ・ 3位：日本にある日系企業（9名）

📊 【分析③から読み取れる成果】

- ・ 日本人：外資一辺倒から「国内日系企業」への関心・意識のシフトが数字で証明！
- ・ 留学生：プログラムを通じて国内就職への関心が高まり、さらに世界を舞台にする広い視野へ進化！

【分析④】日本の企業に就職する際に気になること（3カ年推移） ～データが明かす「ワークライフバランス」への共通ニーズと「マナー」への戸惑い～



● 【日本人学生の上位3位推移】

📊 2023年度（回答：11名）

- ・ 1位：休暇（9名）
- ・ 2位：①給与（8名）／②人間関係（8名）
- ・ 3位：①昇進（2名）／②ビジネスマナー（2名）

📊 2024年度（回答：17名）

- ・ 1位：①給与（13名）／②休暇（13名）
- ・ 2位：人間関係（8名）
- ・ 3位：①昇進（4名）／②ビジネスマナー（4名）

📊 2025年度（回答：11名）

- ・ 1位：①休暇（8名）／②人間関係（8名）
- ・ 2位：給与（7名）
- ・ 3位：昇進（5名）

● 【留学生全体の上位3位推移】

📊 2023年度（回答：20名）

- ・ 1位：給与（16名）
- ・ 2位：①休暇（13名）／②ビジネスマナー（13名）
- ・ 3位：人間関係（10名）

📊 2024年度（回答：40名）

- ・ 1位：①給与（30名）／②休暇（30名）
- ・ 2位：人間関係（22名）
- ・ 3位：ビジネスマナー（18名）

📊 2025年度（回答：21名）

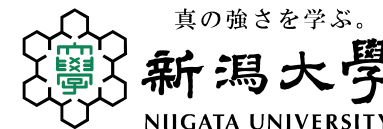
- ・ 1位：①給与（16名）／②休暇（16名）
- ・ 2位：ビジネスマナー（12名）
- ・ 3位：人間関係（8名）

📊 【分析④から読み取れる学生の本音】

- ・ **【共通】** 日本人・留学生問わず、「給与」と「休暇（ワークライフバランス）」を極めてシビアに重視。
- ・ **【違い】** 日本人はマナーを軽視する一方、留学生は「日本のビジネスマナーへの適合」に毎年強い不安を抱えている。

【分析⑤】就職活動における困りごと・不安（3力年推移）

～データが明かす、選考対策の不安から
「自己・企業の深い分析」への意識の進化～



● 【日本人学生の上位の推移（実人員：38名）】 ● 【留学生全体の上位の推移（実人員：81名）】

📊 2023年度（回答：11名）

- ・ 1位：①ビジネス日本語・英語がわからない（5名）
②業界・企業分析（5名）
- ・ 2位：自己分析、SPI、面接対策、相談場所（各4名）

📊 2023年度（回答：20名）

- ・ 1位：面接対策（12名）
- ・ 2位：①ビジネス日本語・英語がわからない（10名）
②業界・企業分析（10名）

📊 2024年度（回答：17名）

- ・ 1位：自己分析（9名）
- ・ 2位：業界・企業分析、面接対策（各7名）

📊 2024年度（回答：40名）★【選考への不安がピークに】

- ・ 1位：面接対策（21名）
- ・ 2位：応募書類対策(ES)、求人情報（各18名）

📊 2025年度（回答：11名）

- ・ 1位：ビジネス日本語・英語がわからない（5名）
- ・ 2位：自己分析、面接対策（各3名）

📊 2025年度（回答：21名）★【悩みの高次元化！】

- ・ 1位：業界・企業分析、自己分析（各8名）
- ・ 2位：筆記試験対策(SPI)（7名）

★【データが証明する結論】

- ・ 23～24年は、日本人は「自己分析」、留学生は「面接・ES」という具体的な対策ノウハウに激しく飢えていた。
 - ・ 25年になると、留学生も「業界分析・自己分析」がトップに。初歩的な不安を超え、より深い就活の軸づくりへ進化！
- ターゲットごとに異なるこの「飢え」を同時に満たすために、3教室の出し分け支援が不可欠だった！

【分析⑥・⑦】 属性別のキャリア志向と固有のニーズ ～過去3力年のデータが証明する、 日本人学生と留学生それぞれの「リアルな本音」～

● 【日本人学生の固有ニーズ（実人員：38名）】

- 📋 外資系企業に就職する際に気になること
- 👉 「求められるビジネス英語のレベル」や「特殊な選考時期」への強い懸念・焦り。
- 📋 留学について、困っていることや不安に思っていること
- 👉 「多額の留学費用の工面」や「就活スケジュールとの両立」といったリアルな壁。
- 📋 結論：高いグローバル志向を持ちながらも、具体的な費用や選考の壁に悩んでいたが、本プログラムを通じて日系企業への意識のシフトなど、キャリアの軸が確立された。

● 【留学生全体の固有ニーズ（実人員：81名）】

- 📋 なぜ日本での就職を望むのか（日本就職への本音）
- 👉 治安の良さだけでなく、「日本の高度な技術やビジネスカチャーを学びたい」という熱意。
- 📋 日本の企業に就職する際に気になること（ビジネスマナーへの不安）
- 👉 日本人以上に、「日本特有のビジネスマナーやカルチャーに合っているか」に強く悩む。

【分析⑧】産学連携の価値：外部連携による「持続可能な個別伴走サポート」の実現

～ガイダンス終了時、3カ年計で半数近くの留学生が個別継続サポートを希望～

📄 質問：WA.SA.Biの個別連絡ニーズ（留学生のみの各年度の回答）

📅 2023年度（参加&回答：20名）

- ・「はい、連絡してください。」：10名（50.0%）
- ・「いいえ、必要であれば自分から連絡します」：10名

📅 2024年度（参加&回答：40名）★【個別サポートの要望が過半数！】

- ・「はい、連絡してください。」：23名（57.5%）
- ・「いいえ、必要であれば自分から連絡します」：17名

📅 2025年度（参加&回答：21名）

- ・「はい、連絡してください。」：5名
- ・「いいえ、必要であれば自分から連絡します」：16名

💎 【3カ年トータル（総回答：81名）の確かな実績】

- ・過去3カ年通じて、総勢38名（全体の約47%）の留学生がガイダンス後に「個別の直接フォロー」を希望した。

➔ 大学単独では終わってしまう支援を、外部専門機関（森興産・WA.SA.Bi）と強固に組むことで、日常的な『線』の『持続可能なサポート』へと昇華できている最大の証拠。

【成果】 高い満足度の達成：日本人学生 & 留学生全体 ～3カ年を通じて、すべての学生属性から圧倒的なポジティブ評価を獲得～

● 【日本人学生の満足度（実人員：39名）】

■ 各年度のポジティブ評価（満足＋やや満足）

- ・ 2023年度（11名）：11名（100%！）
 - ・ 2024年度（17名）：17名（100%！）
 - ・ 2025年度（11名）：11名（100%！）
- ⚠ 特徴：「普通」以下は3年間【完全に0名】！

● 【留学生全体の満足度（実人員：81名）】

■ 各年度のポジティブ評価（満足＋やや満足）

- ・ 2023年度（20名）：18名（90.0%）
 - ・ 2024年度（40名）：37名（92.5%）
 - ・ 2025年度（21名）：18名（85.7%）
- ☑ 特徴：3カ年トータルで【約90%】が高評価！
「不満」の回答は3年間【完全に0名】！

◆ 【高い満足度を達成できた3つの運用・工夫】

1. 学生ごとの多様なニーズ（言語・テーマ・開催場所）に最適化した「3教室の出し分け設計」
2. 当日参加できない学生への「徹底した録画配信&フィードバックフォロー」
3. 外部専門機関（森興産・WA.SA.Bi）との強固な連携による、適正規模での柔軟な支援展開

本事例のまとめ： 地方大学における2つの成功要因

1. 強固な産学連携による「グローバルリソース不足」の克服

- ① 森興産・WA.SA.Bi様との連携により、多岐にわたる学生ニーズ（進学・就職・起業）に対応した。
- ② ガイダンス（点）で終わらせず、終了直後から外部による「持続可能な個別伴走サポート（線）」へと進化した。

2. ターゲットに完全最適化された「支援のハイブリッド・形態別提供運営」

- ③ 学年・言語・形態を分けた「3教室同時開催」で、日本人と留学生（日本語・英語）の障壁を同時に打破した。
- ④ 徹底した「録画＆フィードバック」の網羅的フォローにより、多忙な高度人材の取りこぼしをなくした。

⇒ **結論：この2つが噛み合うことで、3カ年を通じて【日本人満足度100%】
【留学生満足度約90%・不満ゼロ】という成果を達成！**

地方国立大学から、多様な学生の未来を拓く！



- ❁ 「リソースの壁」は、外部と強固に手を携えることで必ず打ち破れる。
 - 📊 今後の展望：新潟大学×森興産（WA.SA.Bi）のモデルをさらに深化させ、地域の国際化・高度外国人材の定着へ貢献。
 - 🤝 全国の仲間へ：本事例が、日本全国で多様な学生の支援に悩む大学・自治体・企業のみなさまの「1つの希望・モデルケース」となることを願っております。
 - 🙏 ご清聴ありがとうございました♥
-